

新発田市 平成 29 年度 第 12 回定例記者会見

- 1 日 時 平成 30 年 3 月 2 日（金）午前 11 時～
- 2 場 所 ヨリネスしばた 501 会議室
- 3 内 容

- 「さくら通り保育園」が開園
- 外国人住民のための体験イベント
- 元気! いきいき! 地域で広がる「しばた・ときめき体操」発表会
- 『春^{はる}RUN^{ラン}漫^{まん}』しばたジョギング大会 in 加治川桜堤」
- 「ふるさとしばた応援寄附金」の新しいお礼品が決定
- 「新発田市芸術祭 春蘭・雪割草展」
- 「成人式」
- 「伊藤聡子 文化講演会」

あいさつ

- ようやく雪が終わったと喜んでいたら、風が吹いて心配しています。
- トラクターの小屋が倒れて、一時市道を封鎖したということでしたが、すぐに撤去したと報告を受けました。それ以外は、これといった被害は聞いておりません。
- 新発田では、大きな被害はなかったということで喜んでいますが、雪の関係では苦勞して、総額で 14 億円の予算を執行しました。
- 国からは、2 億 300 万円の特別交付税の前倒しがありましたが、上乘せではなく、通常 3 月中旬頃に来るものを、先に手当されたということです。
- 総務省では、特別交付税を頑張ってみたいということですが、制度上は 94% が普通交付税で、6% が特別交付税と法律上決まっています。
- 6% を全国に配分しても、期待するほどの金額にならないのではないかと感じていました。
- 聖籠町の渡邊町長が、県町村会の会長として要望に行ってくださいました。

- 国交省からは、社会資本整備の関係で除雪の経費を手当てしたいということ、財務省からは臨時財政対策債を充てるということ、そして、特別交付税と3本立てでやっていただけそうだという感触です。
- 正式な決定ではありませんが、国も本腰を入れて、今回の大雪を見ていただいているものと、大変うれしく思っています。
- さて、話題は、何と言っても出来島桃子選手の出場する^{ビョンチャン}平昌パラリンピックです。大いに期待をしています。
- 今回は、「ふるさと納税」を活用したガバメント・クラウドファンディングによる支援第一号として、寄付金を贈呈しました。
- 今後は、2020年東京パラリンピックを目指すパラアスリートの支援にも力を入れていきたいと思えます。

それでは、会見項目の説明とします。

初めに、「さくら通り保育園」の開園について。

- 12月の記者会見で、内閣府からの助成決定についてお知らせした、新発田食品工業団地内の企業主導型保育園が、いよいよ4月に開園します。
- 同園は、団地内の桜並木にちなんで「さくら通り保育園」と名付けられました。運営主体は、社会福祉法人「くじら」で、当初の定員は19人です。
- 団地内の企業の従業員は、保育料が月額5,000円と格安であり、子育て世代にとって、安心して働ける環境が整ったと思っています。
- 工業団地内の協同組合が企業主導型保育園を設置するのは、全国的にも珍しいことですが、これが一つのモデルケースとなり、企業内保育の取組が市内全体へ広がっていくことを期待しています。
- 開園に先立ち、3月29日（木）に内覧会を開催しますので、ぜひ、取材をお願いします。

次に、外国人住民のための体験イベントについて。

- 3月4日（日）、市内在住の外国人が安心して暮らすために必要な知識や情報を習得してもらうことを目的に、様々な体験をしてもらうイベントを開催します。
- 外国人にボランティアで日本語を教えている「新発田日本語教室」との共催で、公共交通の利用方法について学ぶのは、今回が初めてです。
- 当日は、あやめバスやJRの電車に乗ってもらうほか、日本の文化にふれてもらうため、和菓子作り体験も行います。
- 外国人の生活支援の一助とすることはもちろん、行政側にとっても、外国人が新発田のまちをどのように感じているのかを知ることで、まちづくりのヒントを得る良い機会であると考えています。

次に、「しばた・ときめき体操」の発表会について。

- 市では、高齢者が、住み慣れた地域でいつまでも元気に暮らせるよう、身近な公会堂などに週1回程度集まって、楽しみながら運動する「ときめき週1クラブ」の活動を支援しています。
- 平成28年11月には、「ときめき週1クラブ」での運動に役立てることを目的に、新発田市オリジナルの「しばた・ときめき体操」を開発し、DVDの配布を行ってきました。
- そこで、これまでの活動の成果を踏まえ、3月22日（木）、市民文化会館で「しばた・ときめき体操」発表会を開催します。
- 当日は、「しばた・ときめき体操」を監修した、新潟医療福祉大学准教授の佐藤大輔さんが、市民のデータを基に検証した体操の効果について講演するほか、「ときめき週1クラブ」を実践している2つの地域と、「忘れん・転ばんサポーター」が活動内容を発表します。
- この発表会を契機に、「ときめき週1クラブ」の活動が更に多くの地域に広がっていくとともに、活動を通じて元気な高齢者が増え、その結果、介護費や医療費の削減につながることを期待しています。

次に、「『春^{はる}RUN^{ラン}漫^{まん}』しばたジョギング大会」について。

- 4月8日(日)、今年で3回目となる『春 RUN 漫』しばたジョギング大会 in 加治川桜堤」を開催します。
- さわやかな春の風と共に、飯豊連峰のパノラマを背景に、満開の桜の下を駆け抜ける爽快感とともに、ゴール後の「おもてなし」も好評を得ており、年々、多くの市民ランナーに「春の定番」として浸透してきていると感じています。
- 今年も、ゴール地点の加治川治水記念公園で、紫雲寺産の食材を使った豚汁やおにぎりのほか、飲食物コーナーで利用できるチケットを配布します。
- 3月9日まで、参加者を募集しています。順位を競う大会ではありませんので、ぜひ、大勢のランナーに参加していただきたいと思います。
- 今年も、台湾からのツアーで30名、このジョギング大会に参加いただけると聞いています。

次に、「ふるさとしばた応援寄附金」の新しいお礼品について

- 昨年(2022年)の10月15日から11月16日までの間に募集した、「ふるさとしばた応援寄附金」の新たなお礼品が決定しました。
- これは、当市の地場産品の魅力や品質、技術力の高さをPRすることを目的に、今回初めて公募したものです。
- 従来からのお礼品に加え、新発田を離れて暮らす方が「ふるさと」とのつながりを持つことができる新たなサービスとして、「空き家管理サービス」や「墓地清掃サービス」などが加わりました。
- 新たなお礼品は、2月21日から専用ウェブサイト「ふるさとチョイス」で取り扱っています。これにより、多くの方に新発田の魅力を感じていただき、さらに多くの寄附金が集まることを期待しています。

このほかの情報としては、市民の皆さんの自慢の作品を展示する「春蘭・雪割草展」、今年の新成人の門出を祝う「成人式」、キャスターの伊藤聡子さんによる「文化講演会」があります。

ぜひ、一つでも多く記事に取り上げていただき、新発田を盛り上げていただきたいと思います。

定例記者会見質疑応答概要

「ふるさとしばた応援寄附金」の新しいお礼品について

- 新潟日報 「空き家管理サービス」について、「屋外見回り」とあるが、もう少し詳しく知りたい。
- 市長 「空き家管理サービス」は、草刈りなどを行う。「墓地清掃サービス」は、お盆などに帰って来られない方に代わって、草刈り、墓掃除などを行う。空き家だと、周りの方に迷惑がかかる部分があるが、それをきちんと管理してもらうということである。
- 朝日新聞 草刈りをしてきれいになったという報告も含まれるのか。
- 市長 それは、当然行う。メールで配信することになる。
- 朝日新聞 ビフォア、アフターをメールで知らせるということか。
- 市長 そうである。市内の業者から提案してもらった。社長に確認したところ、ビフォア、アフターは写真を撮ってメールで送りたいということだった。
- 北陸工業 初めて公募したとのことだが、応募はどのくらいあったか。
- 市長 7件全て採用した。全部のお礼品は80品弱である。
- 北陸工業 7件応募があって、7つ全て採用ということか。
- 市長 そうである。ふるさと納税の一番の趣旨は、この「空き家管理サービス」などにあったのかもしれない。違った方向に行っている面もあるが、これはふるさと納税そのものである。
- 毎日新聞 「空き家管理サービス」、「墓地清掃サービス」は、全国的にあるものか。
- 市長 全国的にもある。県内でも、魚沼市、阿賀野市がやっている。まちづくりに協力していただけるのはありがたい。

毎日新聞 「墓地清掃サービス」は、県内でも珍しいものか。

市長 県内ではそれほどないが、全国的にみると増えてきつつある。

『^{はる}春^{ラン}RUN^{まん}漫』しばたジョギング大会』について

北陸工業 先日、エフエム新潟の放送で出場したいという方の投稿が紹介された。とても良い名前だと思う。

市長 ネーミングは良い。去年は、天気が荒れて、台湾から来た方は寒くて途中でリタイアしたようだが、今年は、天候に恵まれて、喜んでいただきたい。

観光振興課から「月岡周遊観光バス」についての追加情報

○3月1日、ピーチ航空の就航に合わせて、県内では唯一、新発田市が先行して「月岡温泉周遊バス」を走らせた。

○本日現在で、まだ予約をいただいているが、PRを含めて、1日1便バスを回しているのので、ぜひ記事に取り上げていただきたい。

新潟日報 3月いっぱい試験運行で、4月からも継続するのか。

市長 そうである。本来であれば、新年度からであるが、1か月だけは実証運行をやってみようということ。できれば4月からもやってみたい。

新潟日報 時間もない中で、どこへ周知するのが難しいと思うが。

市長 先日の取材の中では、新発田城、白壁兵舎、月岡温泉、新潟駅の周遊としていたが、最初の発想では、3時間であれば村上市、胎内市を含めてもっと広域に周遊させて喜んでもらいたいということだった。まだそこまでは、他市町村も追いついてこな

いところがあり、月岡、空港、新潟駅の辺りを頑張ろうということである。将来的には、3時間、阿賀北を紹介できるような観光ルートを作りたい。昨日、職員は関西空港へ行って、越後姫を配りながらPRしている。旅館に泊まることが前提であるので、予約の際に旅館から宣伝してもらっている。ピーチ航空だけではなく、時間設定は上海便と台湾便にも合わせている。FITなので、トップセールスでエージェント回りをやってもダメである。個人客にどうやって新発田を売るか、2次交通があることをどう知らせめるかが、なかなか難しいと思う。最初から新発田に来ようという人は、観光協会にホームページを見るが、周知方法として少し関西方面にアピールする必要がある。

新潟日報 例えば、ピーチ航空のホームページにリンクを張ることはできないのか。

市長 可能だが、非常に高い。ピーチ航空の雑誌には掲載する予定である。